



室蘭市議会議長  
山 中 正 尚

あけまして  
おめでとう  
ございます

本年が市民の皆さまにとって  
健康で明るい年になりますよう  
お祈りいたします。



室蘭市長  
新 宮 正 志

平成21年

# 私の抱負

新たな1年が始まります。  
まちの元気は、  
さまざまなおまかせで  
汗を流し、知恵を絞り、  
行動する皆さんの力によって  
支えられています。  
今年1年、チャレンジする市民の皆さんの  
熱意あふれる思いを紹介します。

## 交通事故から子どもたちを守ります

昨年、近くの交差点で、小学生が車と接触する事故がありました。幸い大事には至らなかったのですが、とても恐ろしい体験だったでしょう。目の前に、自動車という重くて硬い物が迫り、ぶつかってくることを想像してみてください。ドライバーの皆さんも、ゆとりを持った運転に、ご協力をお願いします。



右左折する車を制止し、子どもたちが安全に横断歩道を渡れるよう誘導する

指導員を始めた12年前、ちょうど私の子どもたちも小学生。身近な存在だった子どもたちの安全を守りたいと思い「みどりのおばさん」を始めました。母親の目線で、ごみのポイ捨てをしてはいけません。ことなど、生活指導もしています。「横断歩道は走って渡らない」「信号が点滅したら、止まって次に青に変わるまで待つ」など、道路を横断するときは十分注意するように指導していますが、体が小さい子どもはドライバーの死角に入りやすく、しかも思いがけない行動をするものです。

昨年、近くの交差点で、小学生が車と接触する事故が多発。今年、子どもたちの安全を見守ります。皆さんも、日々の安全運転を心がけてください。



女性交通指導員

### 福井敦子さん

小学生の登下校時に、交通量の多い通学路の街頭に立ち、指導を行う女性交通指導員。中島小学校付近の交差点で、雨の日も雪の日も、小学生の登下校を見守り、小学生に「みどりのおばさん」として親しまれている。

## まちの商業に活気を



室蘭浜町商店街振興組合  
副理事長

### 大西洋一さん

浜町商店街で親の代から続く電器店を営み38年。昨年5月からは、室蘭浜町商店街振興組合の副理事長を務める。空き店舗が目立ち、行き交う人がまばらとなっている浜町商店街に活気を取り戻すため、店主たちが一丸となって、取り組んでいる。

昭和44年の建設以来、約40年間まちの盛衰を見守ってきたアーケードですが、昨年、老朽化のため、やむなく撤去しました。浜町商店街は、空が見える明るい通りに生まれ変わり、閉塞感がなくなったことで、道が広くなったように感じます。

長年、共に過ごしてきたアーケードが無くなったことは寂しいですが、無くなった物を懐かしんでばかりいては前に進めません。今の商店街の良いところを見つけ、伸ばしていくことが大切だと考えています。

浜町商店街周辺は市内で高齢化率が高くと高く、買い物で訪れるお客さんのほとんどが高齢者。そこで今、浜町商店街は高齢者にやさしい商店街の姿を模索しています。昨年8月には、買い物途中の休憩場所や、近所の方々の憩いの場として、空き店舗を利用した「ふれあいサロン」によってけ浜町」を

オープン。現在は、通行しやすい商店街にするため、3月の完了をめどに道路を整備中。また、中央地区の商業者などが集まり、空き店舗の活用や街並みの整備などを議論しているところです。

高齢者にやさしい商店街への取り組みは始まったばかり。地域の人々が地域で買物をするようになるよう、魅力ある商店街を目指していきます。



「ふれあいサロン」内にはテーブルやイスのほか、テレビも設置。自由にお茶を飲むこともできる憩いの空間となっている

## 自然を大切にすることを育てたい



環境ネットむろらん代表  
にし はた つね お  
**西畑 常夫さん**

「環境ネットむろらん」は、市民と事業者、行政によるリサイクル協働市民協議会が開講した環境大学の受講生により、平成15年に設立。不法投棄の実態調査やパトロール、清掃活動、出前講座など、環境・美化活動を展開している。

環境のことを考えるとき、地球温暖化など、大きなイメージを持つと取り組みにくいもの。最近では石油製品の値上がりで、省エネに気を使った家庭が多いと思います。ストーブの火を小さくする、電気を小まめに消すなど、家計にやさしい行動が、環境にやさしい暮らしにつながります。出前講座で身近なエコを紹介していますので、一緒に環境のことを考えましょう。

私たちの活動の一つとして、不法投棄の調査を行っています。人の目が届きにくい場所が多いことが分かりました。大量の家電製品のほか、タイヤが1カ所に23トン（約2万本相当）も捨てられている場所もありました。行政などの協力を得て撤去し、看板やフェンスを設置した場所では、その後ごみが捨てられなくなりましたが、一部の心無い人のマナー違反により、まだまだ多くの場所で自然や景観が台無しにされています。これか

らも私たちは、不法投棄が無くなることを願って、調査や啓発などの活動をしていきます。

また、今年は市内の草木や鳥、魚が生息する場所を示した「環境マップ」作りに取り組みもうと思っています。マップを皆さんにご覧いただき、自然を大切にすることを育ててほしいですね。



出前講座では、使用済み食用油を利用したせっけん作りやごみの分別などの説明を行っている（申込方法など、詳細は14ページに掲載）

## まちを「知り」「伝え」 室蘭地域をもっと楽しくしたい

現在は室蘭の特産品「うずらの卵」を使ったレシピを考案中。今年には、若者によるまちづくりを応援することに力を入れたいと考えています。

金曜日の番組「イブヤン」では、地元の高校生にゲストとして出演してもらっています。夢あふれる若者の発想は、とても新鮮で、放送中に、次々と新しいまちづくりのアイデアが飛び出してきました。

「人に伝える仕事をしたい」という思いから、昨年、室蘭まちづくり放送（株）に入社しました。入社当時、室蘭地域の観光や食、歴史などに関する知識はほとんど無く、いろいろな資料を見てひたすら勉強しましたが、聴取者からの情報で学ぶことも多かったですね。これからも皆さんにまちの様子を自信を持って伝えられるよう、もっと勉強していきます。

夢は「ラジオを聴いて室蘭が好きになりました」と言われること。伝えたいことが、友人や家族へ、さらにその友人へと、情報が無限に広がってほしいですね。もっと積極的に取材活動を行い、たくさんの人と出会い、もっとまちを知ることができるよう頑張ります。

今年も皆さんのところにおじゃまします。嫌な顔はしないでください。ね。



FMびゅーパーソナリティー  
さわ だ まさ ひろ  
**澤田 正寛さん**

昨年8月、室蘭まちづくり放送（株）が、FM84.2メガヘルツで、コミュニティ放送「FMびゅー」を開局。澤田さんは主に、平日11時からの「お昼だよ！」や、金曜日18時からの「イブヤン」などを担当。「室蘭地域をもっと楽しく」をテーマに、まちを音で伝えている。



フェリーの運航最終日には、フェリーターミナルで、乗客へのインタビューを生中継